

日光  
協往還

# 新郷歴史散歩



## 案内図

今(2014年)



この地図は、国土地理院発行の25000分の1  
地形図(館林)を使用したものである。



## ルート案内

※ 距離は「道の駅」から算定した数値です。

### 関所エリア



- ① 会の川締め切り跡碑 …… 20m  
道の駅の北側にあります。
- ② 川俣関所址碑 …… 200m  
堤防中腹にあります。

### 勤兵衛松エリア



- ③ 勤兵衛松の並木 …… 700m  
地藏尊の南側から始まり、500mほどの長さです。
- ④ 塞神社説明板 …… 750m  
石祠は、愛宕神社内に安置されています。
- ⑤ 句碑 …… 850m  
2mほどの御影石の碑です。
- ⑥ 勤兵衛松碑 …… 1050m  
埼玉用水路の南側にあります。
- ⑦ 愛宕神社 …… 1220m  
本殿の他に前方に数社が合祀されています。  
東側は勝軍寺跡になっています。

### 宿通りエリア

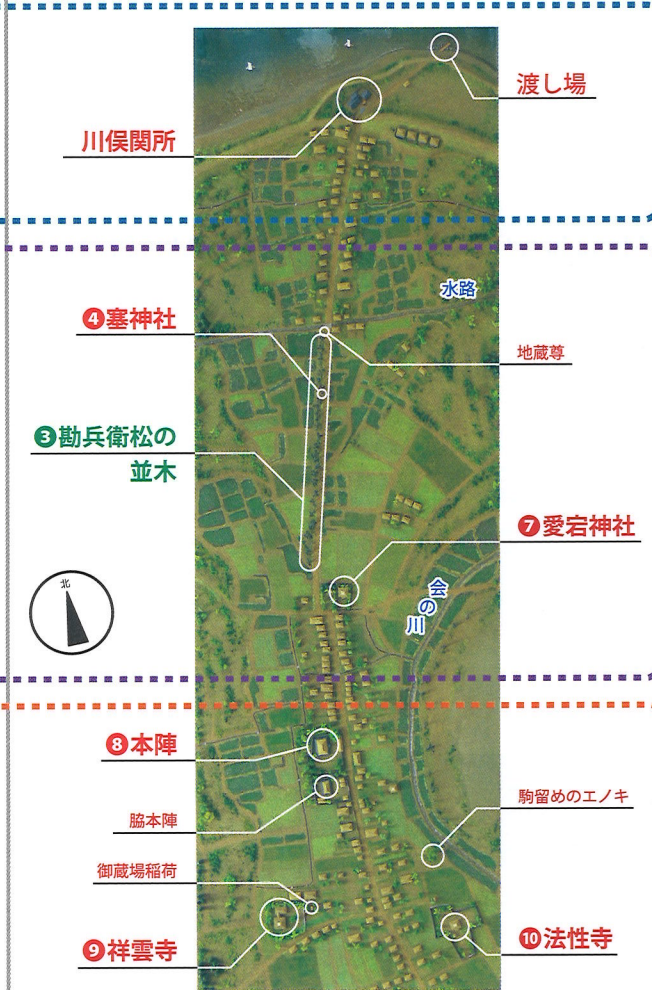


- ⑧ 本陣跡 …… 1500m  
本陣の建物はありません。  
シイの木の大木と境界石柱があります。
- ⑨ 祥雲寺 …… 2070m  
交差点を西に折れて220mほどにあります。
- ⑩ 法性寺 …… 2060m  
交差点を南へ100m、石の門を東へ110mほど  
行くと山門の前に出ます。



## 模型

昔(1860年代)





## ■ 各名所と解説

### ① 会の川締め切り跡碑 (県指定旧跡)



徳川家康が江戸へ入府した後の文禄3年(1594)、忍城主松平忠吉(家康の四男)は家老小笠原三郎左衛門に、川俣で南へ分流していた利根川(南利根・会の川)を締め切り、流れを東へ向け一本化するよう命じた。これにより、伊奈氏が会の川下流域の新田開発を進めた。

### ② 川俣関所址碑 (県指定旧跡)



慶長15年(1610)、新郷関所は江戸の北を警固するために利根川の堤防上へ設置された。しかし、明治2年に廃止された。その跡は明治37年の堤防移転工事により川の中へ沈んでしまい、現在では不明である。

### ③ 勤兵衛松の並木 (県指定天然記念物)



寛永5年(1628)、将軍家光が日光社参した折、忍城番大河内金兵衛が藩士勤兵衛に命じ、150本の松を植樹させたと伝えられている。大正15年には県の天然記念物に指定され、その⑥記念碑が並木に残されている。また、街道沿いには旅人の霊を慰める塞神社が祀られ、④説明板が設置されている。このほか埼玉用水路の北側には、川島奇北「二歳駒買れて来たり春渡船」の⑤句碑が設けられ、往時を偲ぶことができる。

### ⑦ 愛宕神社



祭神は火産靈之命(ほむすびのみこと)である。石灯笼は寛文年間、石手水鉢は正徳年紀、石鳥居は延宝年間に造立された。古墳上には、明治25年に再建された本殿が鎮座している。境内には根本神社・寄木神社・諏訪神社・道祖神社(明治45年)のほか、東照宮社(大正12年)を合祀している。なお、東照宮の石祠は家康の鷹狩の跡を示すものである。



■ A: 関所エリア ■ B: 勤兵衛松エリア ■ C: 宿通りエリア



メモ

お問い合わせ

羽生市教育委員会 生涯学習課

電話:048-561-1121 FAX:048-561-6562

メールアドレス:gakushuu@city.hanyu.lg.jp

### ⑧ 本陣跡



新郷宿・関所を通る街道は往来が多く、江戸から鴻巣を経て日光へ向かうことから「日光脇往還」と呼ばれた。本陣や脇本陣は八王子千人同心や将軍家日光社参の折、徳川御三家や御三卿が休憩や宿泊する場として使用された。現在では当時の建物は残っておらず、**シイの木**(市指定天然記念物)のみが往時を偲ばせている。敷地内には忍領の「従西忍領(これよりにしおしりょう)」**境界石柱**がある。境界石柱は、脇本陣跡にも残されている。

### ⑨ 祥雲寺(曹洞宗) 高木山大照院



開祖は雪屋朔大和尚(元亀2年1571没)、開山は大庵護変和尚(宝永6年1709没)である。本尊は釈迦如来で、市指定有形文化財「木造聖観音立像」が安置されている。須永家(本陣)の菩提寺でもあり、墓地には六面地藏尊と呼ばれる珍しい墓石が残されている。

### ⑩ 法性寺(浄土宗) 無辺山広大院



開祖は成田下総守の家人内田加賀、開山は宗誉上人残哲和尚である。慶長9年(1604)11月、当地に鷹狩りで来た家康がこの寺に立ち寄った。その折、庵主仏法護持の熱意を賞し寺領15石の御朱印状を下付した上、付近の竹木の管理も命じたと言われている。境内には東照宮が祀られている。